

# 「重機に挟まれた」

作業前は  
『事前打ち合わせ』と  
『逃げ場』の確保

「重機に挟まれた」  
ホイールローダの修理で  
トラックに積もうと準備していたところ  
アームを固定中に下がったか  
アームとタイヤの間に顔が挟まれ  
45歳男性死亡

2022/3/4(金)

3日午前11時40分ごろ、苫小牧市の建設会社の敷地内で、会社の男性から「機械の修理に来ていた人が重機に挟まれたようだ」と119番通報がありました。

消防が駆け付け、修理会社社長の男性（45）を救出し病院に搬送しましたが、まもなく死亡が確認されました。

警察によりますとこの男性は、ホイールローダという除雪などに使われる重機のアーム部分が上下に動かなくなったため、修理の依頼を受けて現場に来ていて、もう1人の社員とともにトラックに積もうと準備していたところ、アームとタイヤの間に顔が挟まれたということです。

重機のアームは上がった状態で、鉄棒やチェーンなどで固定しようとしていたところ、鉄棒が外れてアームが下がり、男性が挟まれたとみられています。